

令和5年度 佐久市総合計画審議会第1部会（第3回） 議事録

日時：令和5年8月22日（火）

午後2時～4時

場所：佐久市役所議会棟
第3委員会室

【出席者】高橋部会長、柳澤副部会長、堀内委員、大工原委員、佐藤委員、
秋山委員、原委員、笠井委員、宮澤委員

【事務局】木内企画課長、安井企画調整係長、金澤主任、井出主事

○協議事項等

次第

1 開会

- ・部会長挨拶
- ・欠席委員報告（細井委員、伊坂委員）

2 議事

（1）第二次佐久市総合計画後期基本計画の進行管理について

質疑、意見

事務局	<p>第1部会では、「第二次佐久市総合計画後期基本計画」の第1章の教育、文化、生涯学習分野、第6章の防災、交通安全、防犯分野、第7章の協働、行財政、交流分野について審議を行い、本日は第6章、第7章についてご審議いただく。</p> <p>【第二次総合計画後期基本計画 令和4年度（2022年度）進行管理報告書】</p> <p>うち、「第6章 暮らしを守る安心と安全のまちづくり」</p> <p>「防災」（53・54ページ）について説明</p>
部会長	<p>防災について、ご質問等あるか。</p>
委員	<p>区ごと規模が異なるが、行政の方で区長や役員・民生委員などの役割を示した各区共通の防災マニュアルは整備しているのか。</p>
委員	<p>毎年、各区で区長や各担当の役割を示した防災計画を作成して整備しているので、それを基本に各区で打合せをし、対応していくことが重要である。そのことを区民が知らないということが問</p>

	<p>題であり、区民に周知していくことが必要に思う。</p>
委員	<p>課題にあるように、災害が増えてきているため情報伝達手段の多重化は本当に重要に思う。また、災害が発生したときの問い合わせ先や相談先が明確且つ具体的だと市民の満足度は上がるのではないかと思うので、各区が作成する防災計画も住民に分かりやすく、具体的な形で知らせるように考えていただきたい。</p>
委員	<p>ため池ハザードマップ、洪水マップが作成され、地域防災マップの整備が進められているが、避難場所として指定されている場所が土砂災害警戒区域にあるなど地域の実情がマップの中に落とし込めていない。大雨や洪水が発生したときに、マップがそのままでは使用できないことに気付いていない市民もいる。</p> <p>自主防災組織の組織率も区ごと人数や面積の問題など事情が違いすぎて同じように組織することができないのに、そういった問題を相談する所がないので、その点を考えていただきたい。</p> <p>また、市の施策は、広報などで市の方針を示すばかりで、市民からの情報を吸い上げる仕組みが不足している。災害が起きたときに発生現場から直接情報を市や警察・消防へ伝える仕組みを作っていただきたい。</p>
委員	<p>地域の実情にあわせた地域防災マップを作る動きがあり、切原地区では今年度区長や専門家が集まり作成する話が来ている。</p>
委員	<p>人口が多い地区から始めていて、話がかたない地区もある。予算的な問題や区の人口規模の問題もあるが、耕地林務課では区の実情にあわせたマップを作る動きがないように感じる。河川などの危険箇所は早く整備してほしいが、人口が多い地域から優先して整備されるため、人口が少ない地域は後回しになっている。山間地は土砂災害などの危険性も高いため早く整備してほしい。</p> <p>また、災害連絡員を市の職員が担当しているが、危険箇所が見つかった場合にどのように連絡をして、どのように相談したら良いのか、相談してもその後のルートが明確に定まっていなように感じる。その辺をきちんと整備していただきたい。</p>
副部会長	<p>皆さんの意見をまとめると、区の大小関係なく、各地域の実情</p>

	を落とし込んだ防災マップの早期作成を要望するということが良いか。
委員	(異議なし)
委員	耕地林務課・危機管理課、それぞれでマップを作成しているため総合的なものになっておらず、予算が各課でなくなっていっていることが問題に思う。防災・減災のためには、情報政策課も絡んで、縦割りの枠を超えた総合的な防災計画を作成していただきたい。
委員	防災士の育成は重要に思うので、現在の人数と今後どのように防災士を認定して増やしていくのか、職務内容も含め数値目標を報告書に記載していただきたい。
事務局	「消防・救急」(55ページ)について説明
部会長	消防・救急について、ご質問等あるか。
委員	消防団員の人数確保はどこも課題になっているかと思うので、消防団員数の増減や消防団協力事業所制度を示したものがあれば勧誘などの際に役立つと思う。
委員	転籍の仕組みが分からず、Uターン者への勧誘などに苦慮しているケースがある。消防団員の退職金や転籍の仕組みについて知りたい。また、制度を分かりやすく周知していただきたい。
事務局	退職金については、基本的に佐久市を転出した場合、その時点で消防団を退職しているため退職金が支払われている。そのため、再度佐久市に転入して消防団に加入したとしても、通算されない仕組みとなっている。その他、詳細な案件については、消防団係へお問い合わせいただきたい。
事務局	「交通安全」(56ページ)について説明
部会長	交通安全について、ご質問等あるか。

委員	小中学校等における交通安全教室は開催や回数も含め義務となっているのか。
事務局	交通安全教室は義務ではなく、小中学校からの要請に基づき交通安全指導員を派遣し実施する流れとなっている。
委員	交通安全施設関係の工事実施率が令和4年度72.2%とあるが、通常要望があれば全て実施するものなのではないか。
事務局	予算の状況を踏まえて、土木課で他の区要望も含め優先度を判定し、今年度実施するもの、来年度実施するものに分類し工事を行っている。72.2%は、令和4年度に要望があり年度内に実施できた割合であるが、交通安全施設関係は重要度が高いため、他の区要望に比べ実施率は高い状況にある。
委員	高齢者の事故が多い理由として、病院や買い物などが不便になるため運転免許証の返納が進まないことにある。返納者を増やす手段として、高齢者が買い物に行かなくてもよい仕組み、商工会などと連携して物を売りに来るなどの仕組みがあれば良いのではないかと思う。また、病院に行くときなどにデマンドタクシーを利用した場合の条件を良くするなどしたらどうか。運転免許証の返納がなぜ進まないのか、高齢者の生活に寄り添って深く考えていただきたい。
委員	高齢者の事故が増えている具体的な中身を市は把握しているのか。
事務局	生活環境課で把握している。
委員	<p>運転免許証の返納の話がよく出ているが、実際には運転ではなく歩行中・横断中のトラブル・事故が圧倒的に多いように思う。</p> <p>しかしながら、高齢者の人身事故の実際の状況がなかなか聞こえてこない。</p> <p>高齢者にとって一番危険なのは、歩行中の事故（止まったり・躓いたり・時間がかかったり）だと思うので、市民が分かる所に</p>

	「どこに気をつけるべきか」情報があると良い。
事務局	警察のHPにも掲載されていると思うが、生活環境課の方でも把握はしていると思う。
委員	市のレベルであれば、事故が多い箇所、市街地・山間地での危険箇所や事故の種類をまとめていただきたい。
事務局	安全教室などの啓発活動において、事故の傾向など周知方法についてご意見として報告させていただく。
部会長	横断歩道で小学生が頭を下げる場面が佐久市は多い。交通安全教室の成果が出ているように感じる。一方で、高齢者の運転マナーについては、疑問を感じる場面もあるため、免許更新の講習でマナーについて取り入れていただくと良いのではないかと思います。
事務局	「防犯」（57ページ）について説明
部会長	防犯について、ご質問等あるか。
委員	都会と比較して防犯カメラが地域に非常に少ない。防犯カメラの設置費用は高いので、設置の補助があるとありがたい。公園や犯罪が多い場所などに設置してもらえると、より安心・安全に生活できると思う。
事務局	国の補助がないため、市が個人へ補助するのは厳しいのが現状。しかしながら、警察で補助を実施している。
委員	佐久市内ではどこに設置されているのか。
事務局	小学校や中学校、保育園などに設置しているが、民間施設もあるため市内全体の設置数までは把握できていない。
委員	区民からも要望があり、防犯カメラは重要度が高いように思う。補助体制をぜひ確立し、推進していただきたい。

委員	防犯カメラも最初の頃はプライバシーの問題などが話題になったが、最近はあるのが当たり前のようになって来ていて世の中も変わってきているように感じる。
事務局	「消費生活」(58ページ)について説明
部会長	消費生活について、ご質問等あるか。
委員	消費者相談員は市の職員が兼務しているのか。
事務局	専任の会計年度任用職員が1人おり、状況に応じて正規職員も対応している。
委員	少ないように思う。職員を増やして、市民が安心して生活できるような体制を整備していただきたい。
委員	58ページから満足度指数の目標値と現状値がかけ離れた分野が増えてくるが、その点について所管課の分析が不足しているように思う。幼児教育の章で具体的な分析がまだできていないとの回答があったが、この1カ月で所管課の分析は進んだのか。
事務局	前回と同じ状況である。
委員	報告書の内容は、事務事業評価のまとめといった感じで作られていて、事業の実績が記載されている。そもそもの目標をどのように達成していくかという検討・分析が不足しているように思う。総合計画審議会は、施策評価の妥当性を検証する場、各部署の検討・分析の妥当性を審議する場であるが、妥当性を審議するための材料がないという状況になっているのではないか。
委員	目標値と現状値がかけ離れた理由を審議会でも分析・議論をして、不足している部分を提案していけば良いのではないか。
事務局	市民アンケートを踏まえて、市は課題を分析し、今後の方針を検討している。審議会では、担当部署の分析を踏まえ、もっと満足度をあげるためにはどのようにしたら良いかを議論いただき、

	提案いただければと思う。議論いただいた結果を所管課にフィードバックし、今後の事業に反映していきたいと思う。
委員	50施策がある中で43施策が目標未達の状況。(施策)目標(値)に対する意識が担当課にないのではないか。
事務局	決してそのようなことはない。担当課も数値を上げていくための施策を考えているため、課題の捉え方や今後の方針で不足している点についてはご意見をいただき、所管にフィードバックさせていただく。
部会長	時間の都合により次の章へ審議を移らせていただく。
事務局	「第7章 ひとと地域の力が生きる協働と交流のまちづくり」 「市民協働・参加」(59・60ページ)について説明
部会長	市民協働・参加について、ご質問等あるか。
委員	総合計画の理念に「市民の実感を大事にする」とあるが、市のHPの状況を見ると市民の声を聴くように作られていないように思う。以前トップページにあった意見・提言コーナーがなくなり、問い合わせコーナーだけになっている。パブリックコメントへの意見の少ない状況を考え、もう少し工夫していただきたい。
委員	文書管理システムの導入について、いつを目標としているのか。今後の方針に記載した方が良い。
事務局	令和7年度稼働を目標としている。
委員	公文書の廃棄について、審議会で使用しているような公の文書だけでなく、各担当が持っているものまで範囲を広げるのか、ルールを明確にしていきたい。
委員	公文書の廃棄について、決まりはあるのか。
事務局	2年・5年・10年・永年などで廃棄している。

委員	紙の場合は、物理的な問題もあり廃棄の期限を設けていると思う。国会答弁などで保存期間が過ぎたから捨てるなどの問題があるため、電子化により物理的な問題はなくなるので長期的に保存が可能になると良いと思う。
副部長	皆さんの意見をまとめると、令和7年度稼働前までに電子化による公文書の取り扱い、保存期間や開示のルールなどの整備を要望するというので良いか。
委員	(異議なし)
事務局	「地域コミュニティ」(61ページ)について説明
部長	地域コミュニティについて、ご質問等あるか。
委員	(意見等なし)
部長	それでは、こちらについては、このように取組を進めてもらうということよろしいか。
	(異議なし)
事務局	「行財政経営」(62・63ページ)について説明
部長	行財政経営について、ご質問等あるか
委員	D X化による将来的な出張所の効率化・取り扱いについて、今後の方針に記載した方が良いと思う。
事務局	出張所については、効率化はもちろん、廃止も含め今後検討していくことになると思う。将来的には、市役所全体で市役所に来ないで手続きができるようになることを目指していくことになると思う。
委員	ふるさと納税の記載がない。収入面からもかなり大きな事業な

	<p>ので、取り組み状況について明記してもっと表に出して、どのような目標なのか示していった方が良い。</p>
事務局	<p>令和5年度は8億を超えており、重要な事業であるため記載していきたい。</p>
事務局	<p>「高度情報通信ネットワーク」(64ページ)について説明</p>
部会長	<p>高度情報通信ネットワークについて、ご質問等あるか。</p>
委員	<p>アンケートの実施時期が8月～9月で、令和4年度後半に実施した総合窓口システムの開設などが反映されなかったことが市民満足度に影響したとあるが、「行政DX」がそもそも何かという疑問を市民は抱いていると思う。そういった疑問を市民が抱いていることに焦点を当てず、ただアンケートの実施時期を理由とするのは如何かと思う。</p> <p>DX推進計画の骨子案がパブリックコメントに出されたが、その結果がずっとHPに公表されず7月になって4月付けで公表された。また、DX推進計画の素案が広報に掲載されず、HPにも掲示されず、「突然募集は終了しました。意見はありませんでした。」とHPに掲載された。情報政策課が原因なのか、広報広聴課が原因なのかは不明だが、非常に雑な扱いに思う。デジタル化を進めて行く上でパブリックコメントは重要に思うので、昨年度もお願いしたが、どのような状況なのか確認いただきたい。もし、広報広聴課が原因だとするのであれば謝罪文を出してほしい。HPのパブリックコメント一覧表についても、公開中とあるのにリンクが切れていたり、ページが飛ばないケースもあり完成度が低い状況にある。ただ、体裁を整えているように感じる。</p>
事務局	<p>現在、広報広聴課から庁内のルールの徹底を図っている状況である。今後についてはしっかり公表していきたい。</p>
委員	<p>高度通信ネットワークを整備するにあたり、デジタルデバインドについて高齢者しか意識していないように感じる。高度なネットワークを整備する際、使える人・使えない人、色々なケースを想定していただきたい。</p>

事務局	「地域間交流・国際交流」（65ページ）について説明
部会長	地域間交流・国際交流について、ご質問等あるか。
委員	近所の空き家に住み始めた人で、住所を佐久市に移していない人がいた。コロナ渦には、ほとんど佐久市にいたが、普通に生活をしてゴミ出しもして、佐久市で恩恵を受けているのに区費も納めず地域清掃にも出ないというのは如何なものか。住所を移さない人は多いのか。
事務局	コロナ渦で増えていると思う。東京に仕事や住居があって、佐久市に来ている人はいる。
委員	住所を移していない人たちが、住民票をきちんと佐久市に移して地域コミュニティに参加するようなかたちで定住をしてくれると良いのではないかと思う。
委員	様々な職場で外国人が活躍している。外国人から働きやすさや生活しやすさといった具体的な声をもっと拾い上げられたら良いと思う。
事務局	「広域連携」（66ページ）について説明
部会長	広域連携について、ご質問等あるか。
委員	気象観測地点が佐久市役所にあるが、山間地は大きく気象が異なるため小諸市の農業大学校など県の施設内に観測地点を設置して、災害に備え佐久広域で気象観測をしていただきたい。

(2) その他

委員	第2次総合計画の準備が平成24年に始まったかと思うが、そう考えると第3次総合計画の準備ももう始まっていないといけなのではないか。前回、評価の仕方や市民の実感を取り上げようと時間をかけて審議していたので、どのような予定で実施する
----	---

事務局	<p>のか気になっている。</p> <p>第3次総合計画は令和9年度からのため、令和7年度・令和8年度に準備を進めることになるが、現段階でスケジュールなどは未定。</p>
-----	---

3 閉会